

余暇におけるスマートフォンの利用状況について

丹羽優介(22111273@tama.ac.jp)

1. 研究の目的

本研究は、大学生の余暇におけるスマートフォンの利用状況を明らかにすることを目的とする。

2. 研究の背景

2000年代半ばにスマートフォンが登場して以来、スマートフォン利用者は増加の一途を辿り、総務省の調査によれば現在では約85%の人々がスマートフォンを利用している。中でも13~29歳までの若年層の利用率は98%を超えている。スマートフォンの利用目的は、SNSの閲覧・投稿、オンラインゲームなどである。

一方で、国土交通省の調査によれば、20代の余暇の過ごし方は自宅で休養するが61.5%と最も多い。その中で「TV・DVD・CDなどを視聴・鑑賞する」や「インターネット・ソーシャルメディアを利用する」など、自宅等室内で余暇を過ごす傾向がある。外出については、「ショッピング・映画鑑賞などに出かける」や「食事やお酒を飲みに出かける」など、気軽に近場で過ごすという回答が多い。

3. 先行研究の分析

吉藤ら(2020)では、若年層がスマートフォンで何をしているのか、スマートフォンの利用時間が長い日曜日では、男女共にSNSが最も多かった。中でも女性16~29歳では1日に80%の人がスマートフォンでSNSをしている。男性16~29歳でもSNSが最も多かったが、56%と半数強にとどまっている。また、スマートフォンの行為率と時間を合わせてみると行為者率と時間を合わせてみると、男性16~29歳ではスマートフォンでSNSや動画、ゲーム、音楽など様々な利用をする人がいてそれぞれにある程度の時間を費やしている。一方で女性16~29歳はスマートフォンを利用している。一方、女16~29歳のスマートフォン利用は、SNSがメインであり、動画の利用も多いが、SNSと動画以外はそれほど

SNSと動画以外はそれほど利用されていないことが明らかになっている。何で大学生にしたと言うと夏休み冬休みと言った休みが周りの学生時代に比べると長く、余暇でのスマートフォンの利用状況を明確にすることが出来るからである。

そこで本研究では、大学生に焦点をあて、その余暇においてスマートフォンをどのように利用しているのか、その利用目的や利用実態などを明らかにすることを目的とした。

4. 研究方法

本研究では大学生が余暇にスマートフォンをどのように利用しているのか、その利用目的や利用実態などを調査するために、大学生を対象としたアンケート調査を行うこととする。アンケートでは、余暇時間で何をしているのか、スマートフォンで何をしているのか、スマートフォン以外で何をしているのかなどを問うこととする。

5. 今後の課題とスケジュール

2024年7~8月アンケート内容の決定

先行研究の調査、まとめ

研究の背景、目的

2024年8~9月アンケート調査開始

2024年9~10月アンケート調査結果まとめ

分析

2024年11月~本論書き始める

参考文献

「令和4年版 情報通信白書」総務省、2023.

「令和5年版 情報通信白書」総務省、2024.

「楽しみ方に対する国民の意識」国土交通省、2018

吉藤昌代・渡辺洋子(2020)「若年層のスマートフォンによるメディア利用行動と利用意識」(放送研究と調査 70巻1号p26-45)

<https://www.mlit.go.jp/hakusyo/mlit/h29/hakusyo/h30/pdf/np102200.pdf>(参照2024年7月21日)

